

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 12 月 28 日作成)

小委員会名	地盤震動小委員会		主 査 名：加藤研一 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・地震防災及び建築構造物の耐震安全性に係わる地盤震動の諸問題について最新動向を整理し、その成果を次世代の耐震設計に生かすことを目的とする ・毎年シンポジウムおよび地域交流会を開催して最新動向を学会員に周知するとともに、地盤震動研究の方向付けを行う 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：加藤研一 (鹿島建設) 幹事：山中浩明 (東京工業大学)・野畑有秀 (大林組) 委員：岩田知孝 (京都大学)・釜江克宏 (京都大学)・上林宏敏 (京都大学)・藤本一雄 (千葉科学大学)・小山 信 (建築研究所)・高井伸雄 (北海道大学)・青井 真 (防災科学技術研究所)・大野 晋 (東北大学)・神野達夫 (広島大学)・飛田 潤 (名古屋大学)・境 有紀 (筑波大学)・松島信一 (京都大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	シンポジウム企画WG : 地盤震動シンポジウムの企画・立案 地震動作成指針刊行WG : 刊行物の企画・調整・編集		
2009 年度予算	530,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s4/index.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 37 回地盤震動シンポジウム「地盤震動研究から見た長周期地震動 -どこまで解明されて何が課題か?-」 参加者数 197 名 『同名資料』 2. 第 29 回地盤震動地域交流会 (2009) 参加者数 53 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 例年どおりシンポジウムと地域交流会を開催し、いずれも盛況であった 2. 本年 3 月に上梓した「強震波形の作成法」を耐震設計に反映させることを目的としてベンチマークテストを実施し、委員会内で活発な議論ができた 3. 本年度は 7 名の委員が交代し、世代交代を進めることができた
委員会活動の問題点・課題	1. 開催したシンポジウムや地域交流会への関心は高く、特に問題点はない 2. 実務者を交えて「予測強震動」と「設計用地震動」を繋ぐ議論が必要 3. 活動内容に関する地震荷重小委員会との住み分けが課題である